

3/19 高校生のアイデアが寸又峡を活性化

川根高校生が寸又峡地区の観光案内看板をリニューアル



生まれ変わった観光案内看板を笑顔で紹介

川根高校の2年生が、地域住民や企業などと協働してリニューアルした寸又峡の観光案内看板が完成し、この日、お披露目会を行いました。

観光看板は、寸又峡観光案内所駐車場と求夢荘付近の2カ所に設置され、近年増加している外国人観光客も利用できるように、英語などで表記されるなど工夫が施されています。

また、案内看板には寸又峡地区の住民しか知らない逸話や裏話、それらを題材とした謎解き問題が掲載されており、これまでの看板とは異なる斬新な方法で寸又峡の魅力を紹介しています。

つづ 綴られる『想い』守り続けて四半世紀

3/22

町民有志の団体 エッセイクラブがエッセー集「ひとこと」を編さん

町民たちで構成するエッセイクラブが、町民のエッセー集「ひとこと」第50号を編さんしました。

「ひとこと」は平成8年度からとどまることなく製作され続けてきました。途中、資金的に製本作業が困難になってからも、会員らの手づくりでつづり継がれ、今年で25年を迎えました。

創刊号から携わる山本久美子さん（下長尾区）は「会員の想いが込められたエッセー集を今後も守りつないでいきたい」と笑顔で話しました。



想いを寄せてくれる方を募集しています！

4/4 地域を守る使命を胸に刻んで

令和3年度川根本町消防団辞令交付式が挙行



消防団特有の規律指導を受ける新入団員

山村開発センターで、令和3年度川根本町消防団辞令交付式が行われ、全分団から約60名が出席しました。

今年度は新たに9名の団員が入団。井口晶彦団長は「町の生命・身体・財産を守るという使命のもと、先輩団員の指導をしっかりと聞き入れて頑張ってもらいたい」と新入団員を激励しました。

新入団員を代表して、第4分団の川畑賢太郎さん（崎平区）が「消防団活動に努め、早く1人前になって町に貢献できるようになりたい」と決意を述べました。

和太鼓の音とどろく春の祭典

3/20

町内外の和太鼓チームが集結 勇壮な演奏で来場者を魅了

町文化会館で、「かわね音楽・芸能フェスティバル」が開催されました。

会場には100名以上が来場し、和太鼓による演奏のほか獅子舞ワークショップや地元食材を使ったマルシェなどを楽しみました。

町内の小学生で結成された和太鼓チーム「こども太鼓」も出演。この日のために、昨年10月から和太鼓・和楽器奏者の神谷俊一郎さんの指導のもと、毎週練習を重ねてきました。演奏後、清々しい表情の野元十和さん（徳山区）は「練習は大変だったけど、神谷さんの指導で上達していくのが実感できた。練習の成果を発揮できてうれしい」と話しました。

同会場で行われた獅子舞ワークショップは小学生からお年寄りまで参加した大盛況なものとなり、参加者は馴染みのない獅子舞の動きに苦戦しながらも、威勢良く舞を披露していました。「獅子舞に咬まれたところは、病気やケガをしないですよ」と講師の杉幸司朗さんが呼びかけると、参加者はこぞって足や腰を獅子舞に向けていました。



庄巻の演奏で会場をわかせた川根高校郷土芸能部の皆さん



(上) 赤石太鼓保存会による演奏 (中段右) 子どもたちも堂々と演奏 (中段左) まといの会 鬼気迫る表情 (右下) 羊毛フェルトワークショップ (左下) 獅子舞ワークショップのひとコマ

4/7 新しいウッドハウスおろくぼが始まる

株式会社 KAWANE ホールディングスがウッドハウスおろくぼの指定管理者に

ウッドハウスおろくぼ（水川区）がリニューアルオープンを迎えたこの日、同施設に地域住民や観光業関係者ら約20名が集まり、新しい門出を祝福しました。

地域に愛される場所にしたいと話す迫洋一郎代表取締役は「観光業と・飲食業を一挙に担う同施設の魅力を発信していきたい」と未来を見据えて力強く語りました。

新しい管理人として神奈川県から移住した城野忠信さんご家族が紹介されると、参加した来賓から大きな拍手が送られ、祝福とともに一家を激励しました。



今後の事業構想を熱く語る浜谷友子取締役